

2 重点項目(特に増客効果が大いと考えられる項目)

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
総合企画局	5	山ノ内浄水場の跡地利用の推進	山ノ内浄水場跡地について「京都市山ノ内浄水場跡地活用方針」に基づき大学を中核に複合的な用途の施設を誘導し、本市西部地域はもとより市全体の活性化や地下鉄増客に資する活用を図るための取組を推進する。	○平成26年度 (南側)京都学園大学京都太秦キャンパス第1期(学生数2000人規模)の開設に向け、施設整備を支援 (北側)優先交渉事業者の選定に向け、6月から公募を開始、年度内に選定予定 ○平成27年度 (南側)京都学園大学京都太秦キャンパスの開設 (北側)契約締結・用地の引渡し ○平成30年度 (南側)京都学園大学京都太秦キャンパス第2期(学生数3000人規模)の開設に向け、施設整備を支援
	9	地下鉄北山駅周辺地域の活性化	植物園や府立大学、総合資料館等さまざまな文化施設が集積する北山地域(北山文化環境ゾーン)の整備を行う京都府と協調し、京都コンサートホールや商店街、地元の関係団体等とも連携した地下鉄北山駅周辺地域の活性化に取り組むことで、更なる地下鉄・市バスの増客を図っていく。	○平成26年度 ・府市協調による取組の推進 ・「地下鉄北山駅周辺地域の活性化ワーキング・グループ会議」(庁内会議)を開催 ・「北山文化環境ゾーン交流連携会議」への参画 (参考 府の動き:京都市立植物園90周年、新総合資料館整備)
	10	東部クリーンセンターの跡地活用の検討	地下鉄駅に近接している東部クリーンセンターの跡地について、市民の皆様からの御意見や地下鉄の増客の視点も踏まえ、京都の活性化のために活用するよう検討を進める。	○平成26年度 跡地活用に向けた取組の推進
	11	岡崎地域活性化ビジョンの推進	平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」に掲げる将来像の1つである「歩いて楽しい祝祭と賑わいの空間」づくりに向け、官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、地域を挙げての催しや魅力づくり、エリア全体での情報発信など、地下鉄・市バスの利用促進につながる賑わい創出に取り組む。	○平成26年度 ・岡崎エリアの総合的な案内・情報発信(岡崎の総合情報パンフレット「岡崎手帖」、京都岡崎ガイドマップ「岡崎どこいこトココ街図」の発行、総合情報サイト「岡崎コンシェルジュ」の運用) ・「京都岡崎レッドカーペット」、「岡崎ときあかり」、「京都国際マンガ・アニメフェア」を「京都岡崎ハレ舞台」と称して同日開催し、岡崎エリア全体で一体的に賑わい創出に取り組んだ。 協議会主催の主な事業の来場者数: 約12万6千人
	12	京都駅西部エリアの活性化	梅小路公園をはじめ、多彩な地域資源が集積する京都駅西部エリアの活性化に取り組む。エリア内の様々な施設・団体等との連携による魅力情報発信や回遊性向上に資する取組を通じて、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	○平成26年度 ・平成26年度中に、京都駅西部エリア活性化将来構想を策定 ・地域連携事業を実施(マップ型情報冊子「京都しもしし通めぐり」改訂版の発行、情報発信の担い手育成事業「地域レポーター育成塾」の開催等)
	14	国立京都国際会館の拡充整備に向けた取組	国への要望とオール京都の協力体制の構築により、国立京都国際会館への5,000人規模の多目的ホールの早期整備を実現し、大規模国際会議をはじめとするMICEの推進を図る。	○平成26年度 ・国家予算等に関する要望・提案の実施(6月、11月) (国の動き) ○平成26～27年度 ・新施設(2500人規模)の設計 ○平成27～30年度 新施設の工事

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
文化市民局	12	京都会館再整備事業	文化芸術活動の拠点となるとともに岡崎地域の活性化にも寄与するよう、平成28年1月の開館を目指して再整備に取り組んでいる。再整備後は、舞台機能が向上したホールに加え、新しい憩いの場となるカフェなどの賑わいスペースの設置を予定している。また、オープニング・プレ事業及び開館から1年間にわたるオープニング事業の実施を予定している。	○平成26年度 ・再整備工事 ・オープニング事業の発表(9月) ・プレ事業として、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトを開催(平成27年3月26日) ○平成27年度 竣工(8月)、プレ事業の実施、開館(1月10日)、オープニング事業の実施 ○平成28年度 オープニング事業の実施(~12月) ○平成29年度以降 文化芸術事業の実施
	14	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015の開催	京都市美術館を主会場とし、世界の現代美術と先鋭的な文化活動の現状を紹介する大規模な国際芸術祭として、「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」を開催する。	○平成26年度 プレイベントの実施 ・オープンリサーチプログラム(4回開催) 芸術祭事務局による作家や作品についての調査研究を行うプロセスを一般に公開するプログラム ・パブリックプログラム(3回開催) 作品開設や芸術活動についてのレクチャーを行う市民対象のイベント ・作品制作ワークショップ(子どもダ・ヴィンチ)開催 ○平成27年度芸術祭(3/7~5/10) (約25万人規模)
	15	琳派400年記念事業	平成27年(2015年)は、本阿弥光悦が徳川家康から鷹峯の土地を拝領した元和元年(1615年)から400年目に当たり、いわば「琳派400年」というべき記念すべき年になる。この記念すべき年に、京都を挙げて、文化芸術と産業等のエネルギーを結集することにより、京都のまち全体の活性化を目指す。	○平成26年度 ・琳派400年記念祭公式ポスター、ロゴ・イメージキャラクターの創作、ホームページの立ち上げ(6月) ・オープニングイベントとして『琳派400年記念祭「開幕記念フォーラム」』を平成27年1月31日に開催予定 ・「琳派400年記念 新鋭選抜展」1/24~2/8、京都文化博物館 ○平成27年度 主なイベント予定 ・特別展覧会「琳派」(仮称) 10~11月、京都国立博物館
	22	美術館再整備事業	京都市美術館は、開館以来、日本の美術・文化振興に大きな役割を果たしてきた。しかしながら、美術館を取り巻く状況は時代とともに、変化しており、ソフト・ハード両面からの検討が必要である。こうした現状を踏まえ、京都市美術館が今後とも、国内外を問わず多くの人々を魅了し、世界に誇れる美術館となるよう、求められる役割や目指すべき美術館像を明らかにするとともに、時代の変化に適応した機能・施設の充実等について検討を行っていく。	○平成26年度 ・北西角の建物(美術教室等)の解体工事(~10月完了) ・同地の埋蔵文化財調査の実施(8月~) ・整備基本計画の策定(平成27年3月予定)
	29	京都マラソンの開催	市民スポーツの振興のみならず、高い経済波及効果や都市ブランドの更なる向上が見込める京都マラソンを開催する。	○平成26年度 平成27年2月15日開催 ・ランナー募集(7/29~9/1) ・ランナー抽選結果発表(10/7) ・ボランティア募集(9/3~10/31) ・ランナー受付、おこしやす広場の開催(2/13,14)【予定】
産業観光局	13	京の七夕	「一年に一度、願いごとをする」という七夕にちなんで「願い」をテーマに旧暦の七夕に開催、「堀川、鴨川を竹や光で幻想的に演出し、京都ならではの七夕を表現する。	○平成26年度 開催期間:平成26年8月2日~11日 (9,10日は台風のため中止) 総来場者数 65万1千人 ※堀川会場のみ 27万8千人
	14	東山花灯路	東山地域の寺院・神社をはじめとする歴史的な文化遺産、白壁や石畳、門前町などのまち並みを生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、春の訪れを魅力的に表現する。	○平成26年度 開催期間:平成27年3月6日~3月15日 ・実行委員会を開催(6月)
	15	嵐山花灯路	嵯峨・嵐山地域の自然、水辺空間、竹林や歴史的な文化遺産、景観など地理的諸条件を生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、初冬の季節感を魅力的に表現する。	○平成26年度 開催期間:平成26年12月12日~21日 ・実行委員会を開催(6月) ・10回記念事業として企画を検討中

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
都市計画局	3	空き家対策推進事業	「地域の空き家相談員」等による総合的なコンサルティングを行うほか、地域連携型空き家流通促進事業や支援制度の創設等により、空き家所有者の活用意向を引き出すとともに、空き家化の予防や適正管理の推進等、空き家対策を総合的に推進する。	○平成26年度 ・「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」(4月施行) ・空き家活用を推進するための、リーフレット等による啓発の実施 ・「地域の空き家相談員」の登録(73名)、総合的なコンサルティング体制の充実 ・地域連携型空き家流通促進事業の拡充・実施(新規認定団体 10団体) ・空き家活用・流通支援等補助金制度の創設(6月) ・「空き家活用×まちづくり」モデル・プロジェクト制度創設
	8	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	本市の都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランに示されている土地利用の方針に基づき、エコ・コンパクトな都市を実現するために、地下鉄をはじめとする公共交通拠点周辺における都市機能の集積や充実を目的として、「地域地区の見直しに関する方針」を検討したうえで用途地域等の見直しを行う。	○平成26年度～ ・都市計画マスタープランの推進 ・26年度以降に用途地域等の都市計画の見直しを行う。 ・京都市駅周辺等にふさわしい都市機能検討委員会の開催(9月、10月、11月)
	9	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略について、総合的な推進及び点検を図る全庁挙げた「歩くまち・京都」推進本部を設置するとともに、実施プロジェクトの進捗を点検し、社会情勢の変化も踏まえた戦略の充実や見直しを検討するため、関係団体、学識経験者、関係行政機関で構成した「歩くまち・京都」推進会議を設置し、推進を図る。	○平成26年度 ・「歩くまち・京都」推進本部会議の開催(6月) ・「歩くまち・京都」推進会議の開催(27年3月) ・戦略の効果検証のための調査・分析(27年3月)
	12	歩いて楽しいまちなか戦略	京都の活力と魅力が凝縮した歴史的都心地区(四条通、河原町通、御池通、烏丸通に囲まれた地区)を中心とした「まちなか」において、四条通の歩道拡幅や公共交通優先化をはじめとする、安心・安全で快適な歩行空間の確保と賑わいの創出など、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進する。	○平成26年度 ・四条通の歩道拡幅と公共交通優先化に向けた工事着工(11月17日) ○平成27年度 ・四条通の歩道拡幅と公共交通優先化に向けた工事完成(10月末予定) ○平成28年度以降 ・「まちなか」において人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進
	18	崇仁地域のまちづくり	「京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会」からの報告書を踏まえ、住宅地区改良事業を早期完了させるため、土地区画整理事業との合併施行を推進するとともに、「創造・交流・賑わいのまち」の実現に向けた、市民、民間事業者、NPO、京都市立芸術大学などの多様な主体の参画によるまちづくりを推進する。	○平成26年度 ・土地区画整理事業(都市計画変更、施行規定一部改正) ・住宅地区改良事業(崇仁市宮住宅塩小路高倉3棟(仮称)建設工事着工)
	20	三条京阪駅周辺地域の活性化	都市計画マスタープランにおいて、商業・業務機能の立地誘導、多様な都市機能の集積を図る地域として位置付けている三条京阪駅周辺について、地下鉄をはじめ交通至便な立地環境にある地域のポテンシャルを最大限に生かした土地活用となるよう、三条鴨東地区の改良事業計画の見直しも含め、魅力あるまちづくりを進める。	○平成26年度 ・三条鴨東地区住宅地区改良事業 事業計画変更(年度内)

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
建設局	4	京都駅南口駅前広場の整備	本市最大のターミナル駅である京都駅の南口駅前広場について、年間5,000万人を超える観光客が訪れる国際文化観光都市・京都の玄関口にふさわしい交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行者空間の創出など、利用者の視点に立った広場の整備を行う。	○平成26年度 ・機械式地下駐輪場工事着工(6月) ・駅前広場整備工事着工(11月) ○平成27年度 駅正面の拠点広場デッキ完成(プレオープン)予定(12月) ○平成28年度 ・駅前広場整備工事完成予定
	10	左京岡崎における神宮道と公園の再整備	神宮道(冷泉通～二条通)を歩行者のための空間とし、隣接する公園と一体的に再整備するとともに、ロームシアター京都と一体性をもたせることにより、創造的で豊かなオープンスペースや優れた景観の形成、安全性と回遊性の向上を図る。	○公園整備工事 年内に工事契約予定。 ○周辺道路整備工事 平成27年3月に工事契約予定。 いずれも平成27年9月に供用開始予定。
	12	高瀬川周辺一帯の魅力ある水辺づくり	高瀬川は、石積護岸の老朽化が著しく、水枯れがたびたび発生し、良好な水辺環境の保全が困難な状況になったため、護岸の補修工事を実施する。実施に際しては、高瀬川の景観に重要な役割を果たしている街路樹のサクラやヤナギ等に配慮した整備を行うとともに、沿川における他事業や地域との連携も含め、周辺一帯の魅力ある水辺づくりを目指す。	○平成26年度～ ・改修工事実施中(三条通～車屋橋) ・高瀬川開削400周年の地元イベント開催
北区	3	柘野学区におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域と地元京都産業大学との連携のもと、北区役所・交通局も協働して、「柘野地域における公共交通利用促進会議」を発足させ、地域の方が主体的に地域の公共交通のあり方を検討し、その利用促進を図る取組を進める。	○平成26年度 ・柘野地域・バス利用促進ワークショップの開催(7月、8月) ・柘野地域・市バス特37号沿線おでかけマップ・ニュースレターの作成・配布(11月発行4,000部)
山科区	4	山科・感動ツーリズム推進事業	地下鉄東西線の乗客増と山科地域の観光活性化を図るため、地元住民と行政、交通事業者等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起し、磨き上げを行う。	○平成26年度 ①毘沙門堂 紅葉のライトアップ・夜間拝観実施(11月15日～30日) ②やましな大冒険:区内各地で、約10回のプログラムを実施予定。 ③感動! やましなサポータークラブの結成:会員情報と利用時の特典付のマップを配布中(10月11日～) ④感動! やましな まるごとマルシェ 随心院(11月15日、16日)、東野公園(12月13日、14日)にて実施予定 ⑤感動! やましな プレゼンタリー サポータークラブの会員店舗等をめぐるスタンプラリーを実施中(10月11日～12月31日)。 ⑥感動! やましな まちバル 山科駅前の飲食店を中心に実施(11月15日～30日) ⑦交通局との共同広報活動 コトチカ京都にて、事業のチラシを配布(11月7日)。
伏見区	10	久我・久我の杜・羽束師地域におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域住民の意識と行動に直接働きかけ、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの転換を促す取組であるコミュニケーション施策(モビリティ・マネジメント)を、久我・久我の杜・羽束師地域において実施する。	○平成26年度 ・ワークショップ開催(3回開催) ・啓発チラシの作成・配布(3回) ・神川出張所において、主要なバス停時刻表を配架

担当局区	No.	事業名	事業概要	進捗状況及び今後の予定
交通局	11	駅ナカビジネスの積極的な展開	駅構内の配置を見直すことにより、活用可能な公共空間を最大限創出するとともに、民間のノウハウも活用して積極的に取組を展開する。	○平成26年度 ・コトチカ御池の拡充、今出川駅構内店舗の出店者募集受付(6月) ・コトチカ山科のオープン(10月) ・丸太町駅構内店舗のオープン(12月予定) ○平成27年度 ・コトチカ御池の拡充 ・今出川駅構内店舗の開業
	15	区役所・支所等と連携した取組の推進	地下鉄5万人の増客目標の達成に向け、区役所・支所と連携して、区からの情報発信により、区外から集客できるような取組を展開する。(連携事業の推進、コトチカ広場などの駅スペースの活用、ポスター・チラシ等の掲出など)また、各局区等のイベントにブース出展することにより、地下鉄の利用を促進する。	○平成26年度 ・8月～11月:高瀬川開削400周年記念事業との連携(中京区、下京区) ・11月:京都・やましの観光ウィークとの協同PR(山科区) ・区役所ふれあいまつり等イベントへの出展(9件)
	16	地下鉄駅周辺散策ガイドの作成	駅ごとの個性を活かし、地下鉄駅周辺の見どころをめぐる散策ガイドを作成し、地下鉄のお客様の増客に繋げる。	○平成26年度 散策ガイド制作(26年度中)
	19	京都学園大学との連携による地下鉄利用促進策の推進	京都学園大学と締結した連携協定に基づき、地下鉄・市バスなどの公共交通の利用促進や太秦天神側駅周辺地域の活性化を促進する。	○平成26年度 ・京都学園大学との協定締結(4月28日) ・大学のPRキャラクター「太秦その」とのコラボレーションによる共同PRの実施 ・右京区役所でのシンポジウム開催(10月18日)
	32	地下鉄のダイヤ見直しの検討	地下鉄の更なる利用促進と利便性向上のため、終電の延長も含め、ダイヤの見直しを検討する。	○平成26年度～ 増客に向けた地下鉄ダイヤ見直しの検討 9月21日 烏丸線ダイヤ改正実施 (混雑緩和の為、午前時間帯に一往復増便)